

## 霧島山（いおうやまえびの高原(硫黄山)周辺）の火山活動解説資料

福岡管区气象台  
火山監視・情報センター  
鹿児島地方气象台

< 噴火予報(平常)から火口周辺警報(火口周辺危険)に引上げ >

2013 年 12 月以降、韓国岳付近、韓国岳北東側、硫黄山付近で火山性地震が時々発生しています。2014 年 8 月 20 日に硫黄山付近を震源とする継続時間約 7 分の火山性微動が発生しました。微動の発生に伴い傾斜計で硫黄山の北西が隆起するような変動が観測されました。

このように、えびの高原(硫黄山)周辺では、引き続き火山活動が高まっており、噴気や火山ガスなどが噴出し、今後の状況によっては小規模な噴火が発生する可能性があります。

### 【防災上の警戒事項等】

平成 26 年 10 月 24 日に火口周辺警報を発表し、噴火予報(平常)から火口周辺警報(火口周辺危険)に引上げました。

えびの高原の硫黄山から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では、降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意してください。

### 活動概況

#### ・噴煙など表面現象の状況(図 1)

硫黄山付近では、噴気は観測されていません。2014 年 10 月 21 日に実施した硫黄山付近の現地調査では、噴気や地熱域などの異常は認められませんでした。

#### ・火山性地震、火山性微動活動(図 2、図 3)

硫黄山付近では、8 月 20 日に継続時間が約 7 分の火山性微動が発生しました。また、火山性地震が時々発生し、6 月頃から硫黄山付近で増加しています。

#### ・地殻変動の状況(図 4、図 5)

GNSS 連続観測<sup>1)</sup>では、韓国岳付近の一部の基線で、2013 年 12 月頃から地盤の伸びの傾向がみられました。

傾斜計では、2013 年 12 月頃からみられる韓国岳北東観測点の北西上がりの傾向は、2014 年 7 月頃からやや鈍化しています。

1) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。

この火山活動解説資料は福岡管区气象台ホームページ (<http://www.jma-net.go.jp/fukuoka/>) や気象庁ホームページ (<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。国土地理院発行の『基盤地図情報縮尺レベル 25000』『数値地図 50mメッシュ(標高)』を使用しています(承認番号:平 23 情使、第 467 号)。



図 1 霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺） 硫黄山周辺の状況（2014 年 10 月 21 日）

現地調査では、噴気や地熱域などの異常は認められませんでした。

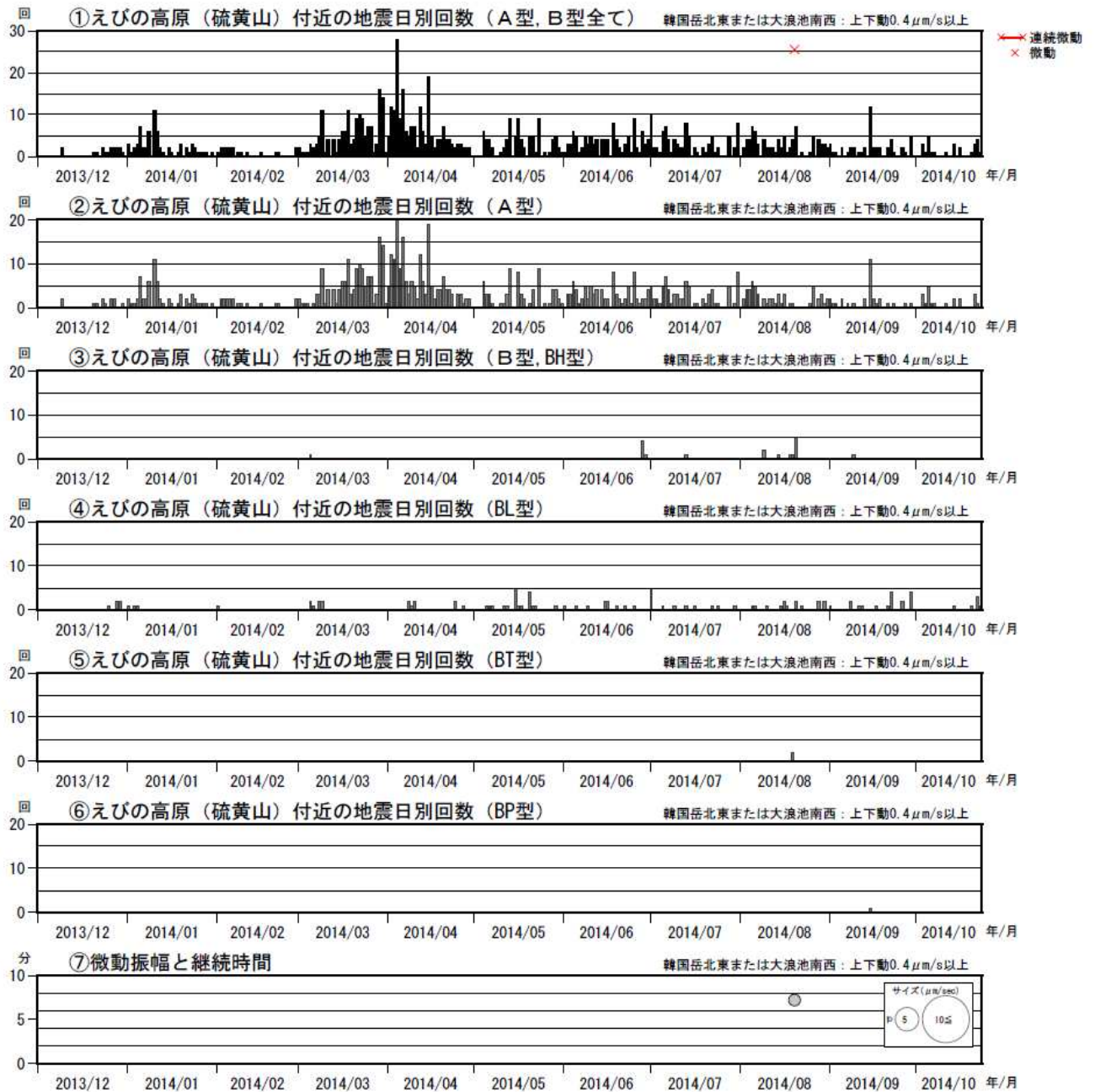
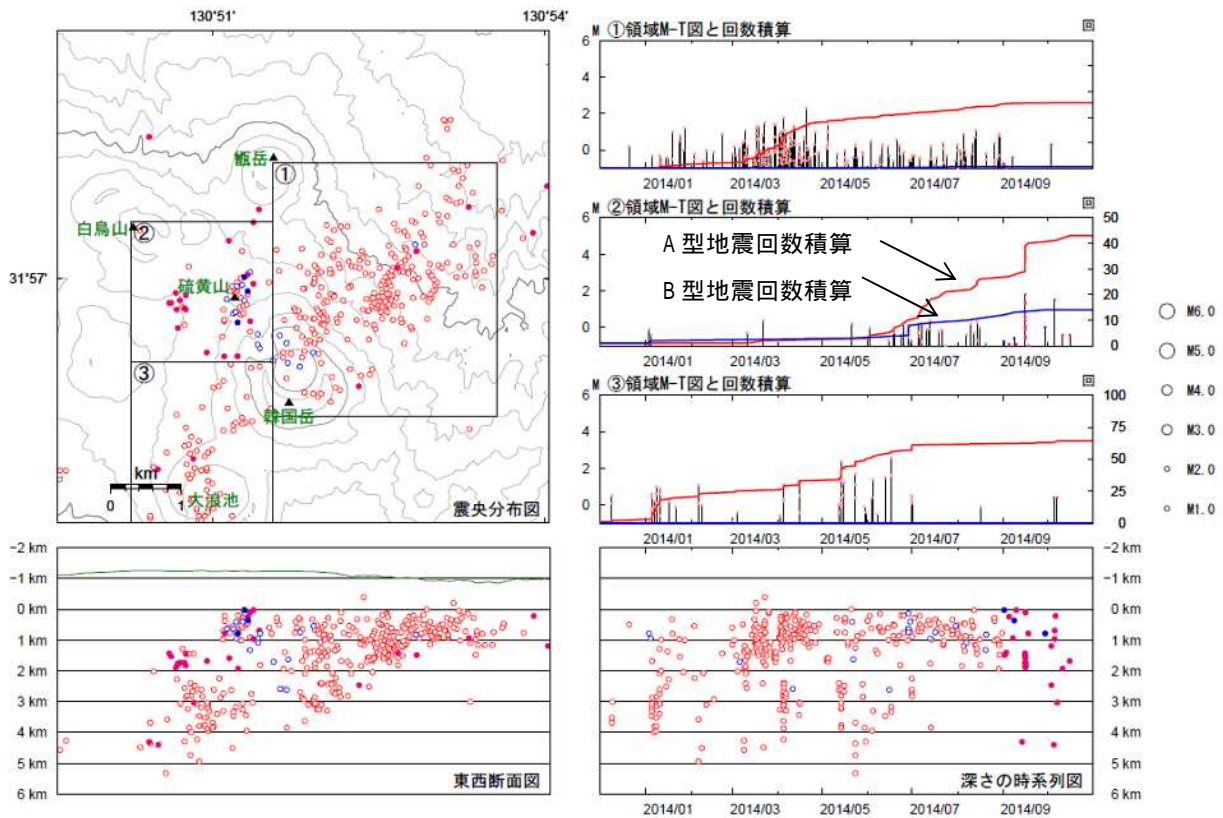


図 2 霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺） 火山性地震と微動の発生状況  
（2013 年 12 月 1 日～2014 年 10 月 23 日）

< 2014 年 5 月 1 日～10 月 23 日の状況 >

- ・火山性地震が時々発生しました。
- ・8 月 20 日 01 時 36 分頃に継続時間が約 7 分の火山性微動を観測しました。

監視強化のため、2013 年 12 月 1 日からえびの高原（硫黄山）周辺の基準を見なおして検測している。



A型地震

- : 2014年9月1日～10月23日の震源
- : 2013年12月1日～2014年8月31日の震源

B型地震

- : 2014年9月1日～10月23日の震源
- : 2013年12月1日～2014年8月31日の震源

図3 霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺） 領域ごとの地震回数積算図  
（2013年12月1日～2014年10月23日）

硫黄山付近（領域 ②）では、6月頃から地震が増加しました。

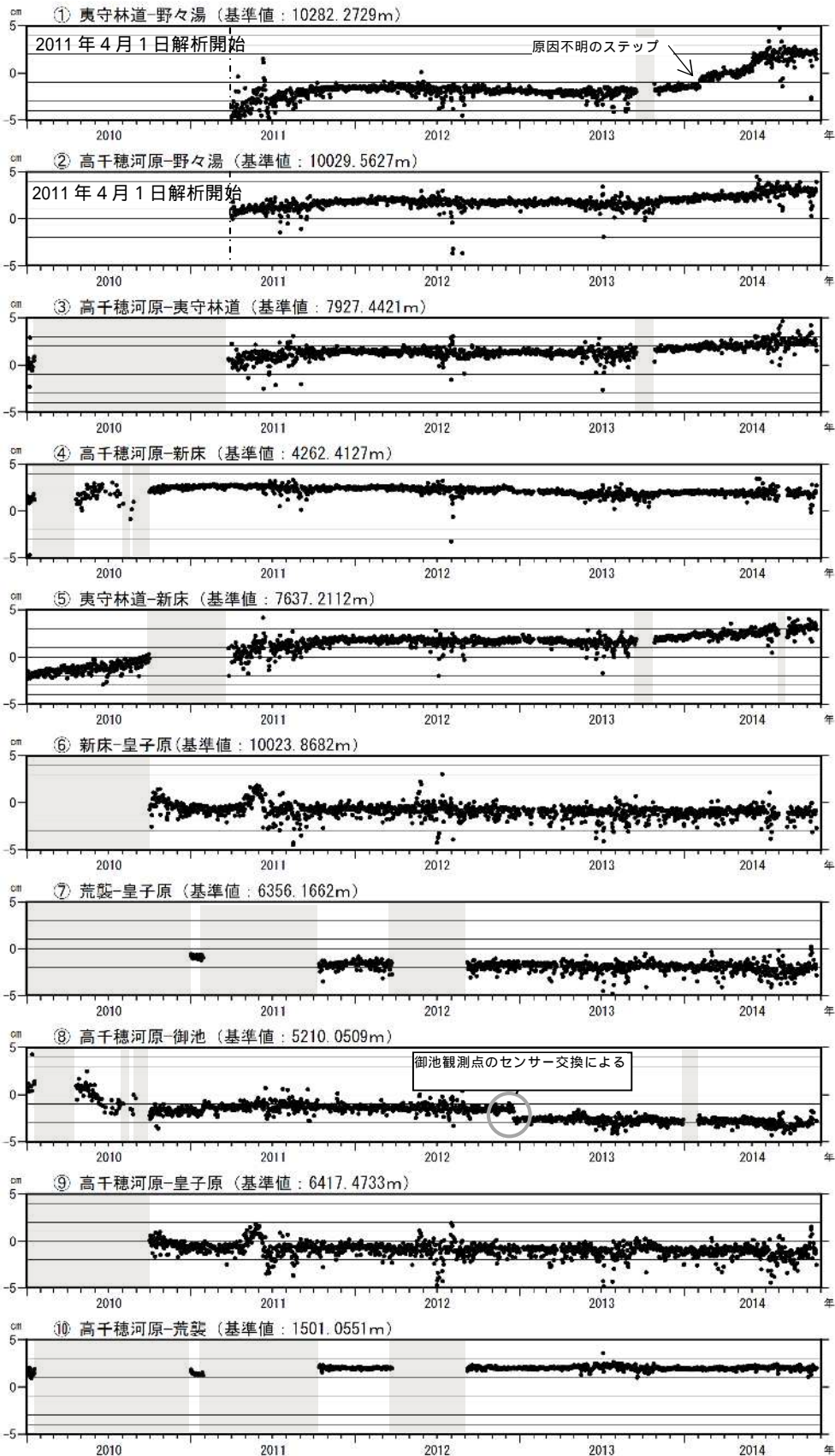


図 4 霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺） GNSS 連続観測による基線長変化（2013 年 4 月 1 日～2014 年 10 月 22 日）

GNSS 連続観測では、韓国岳付近の一部の基線で、2013 年 12 月頃から地盤の伸びの傾向がみられました。

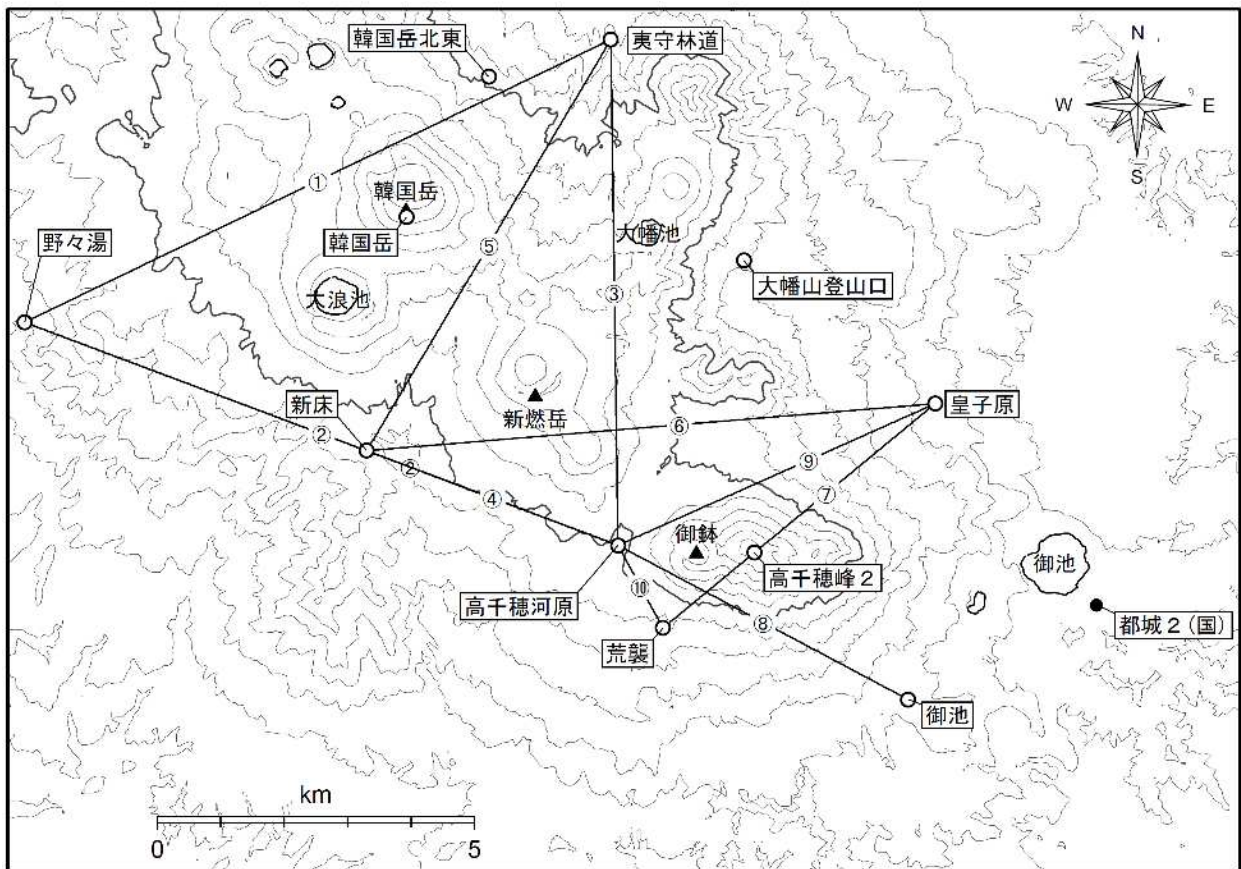


図 5 霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺） GNSS 連続観測と基線番号

小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。  
（国）：国土地理院



図 6 霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺） 警戒が必要な範囲

えびの高原の硫黄山から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。